

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	231	学校名	仙台市立袋原中学校	校長名	藤田 義雄
------	-----	-----	-----------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ
全校地区清掃活動・古紙回収



- 2 取組の紹介

《全校地区清掃活動》

日 時：11月24日(木) 6校時

場 所：本校学区12地区と本校敷地内

作業内容：通学路や公園などのゴミ拾いや落ち葉拾い

目 的：① 地域清掃活動を通して、地域の一員としての自覚を持たせる。

② お世話になっている地域の方々への感謝の気持ちを確認するとともに、奉仕の精神を育む。



《古紙回収》

日 時：毎月の専門委員会の時間

対 象：各学級の奉仕委員

作業内容：各学級で出た古紙の回収と仕分け

目 的：リサイクルの心を育み、一人一人が地球環境を守っている自覚を持たせる。



- 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

全校地区清掃活動では、学校支援地域本部スーパーバイザーや各地区町内会、PTAの方々と連携し、活動を行いました。通学路や公園などの環境美化活動に取り組んだ生徒からは、「自分の住んでいる町内会に、空き缶がこんなに落ちているとは思わなかった。」や「短い時間でも大きなゴミ袋2つ分も集めることができ、地域のために活動できてよかった。」などの声を聞くことができました。

古紙回収では、各学級に古紙回収用かごを設置しています。奉仕委員が定期的に分別の呼び掛けをすることで、クラス全体としてリサイクルの意識が高まっています。月1回の奉仕委員会での仕分け作業では、用紙のサイズや片面・両面印刷、色つき用紙等の種類別に丁寧に仕分けを行い、継続して取り組んでいます。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	232	学校名	仙台市立折立中学校	校長名	村上 秀樹
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ 「OSP(折立清掃プロジェクト)」



2 取組の紹介

○地域の清掃活動

折立中学校では生徒会が中心となり、「OSP(折立清掃プロジェクト)」と称して、地域の清掃活動に取り組んでいます。朝の8時50分～8時10分までの約20分間、地域のゴミ拾いや落ち葉拾いを行っています。日にちを部活動(無所属生徒も参加します)ごとに割り振り、年間をとおして継続的に取り組んでいます。

生徒会執行部の担当生徒は毎回参加し、開始時終了時には挨拶を行っています。また、清掃の仕方や場所等についても指示を出し、生徒会が主体となって進めています。また、おたよりを発行し、日程や場所等について各部活動に周知徹底を図っています。拾ってきたゴミは、昇降口前で分別し、ゴミ倉庫に運びます。

秋から冬にかけては、校舎周りや公園の落ち葉拾いをするなど、年間を通じて地域の一員としての役割を果たしています。



(OSPでの活動の様子)

OSP割り当て
学校周辺をきれいに
清々しい気持ちで冬を迎えましょう!

11-22(水)	A	体育部・卓球部	12-8(水)	A	男女バドミ
11-24(木)	B	陸上部	12-10(木)	B	テニス部
11-29(水)	C	吹奏楽部	12-16(金)	C	音楽部・合唱部・舞踊部
12-11(水)	D	美術部	12-20(水)	D	男女バドミ
12-6(火)	E	野球部			

7:45(集合)～8:10(解散)
持ち物...ビニール袋 軍手 防寒着
集合場所...昇降口前

(生徒会が発行しているおたより)

○ゴミの分別と古紙回収

各フロアの廊下や職員室を含め、燃えるゴミ用のゴミ箱とプラスチック用のゴミ箱を設置しています。生徒には、学活や総合的な学習の時間、家庭科や社会科の授業をとおして、分別をすることが3R(リデュース, リユース, リサイクル)につながることを指導しているので、生徒は意識して分別を行っています。また、教職員の意識を高めるためにも、職員室や印刷室に、「裏面再利用紙」「白黒コピー用紙」「雑誌やカラー」の3種類に分ける古紙回収ボックスを設置し、学校全体で分別を心掛けています。



3 取組の成果(生徒の変容)

地域の清掃活動では、主体的に活動することで通学路や公園、学校周辺に多くのゴミが落ちていることに気付く生徒が多く見られました。生徒の感想などからは、日頃から自分の周りの環境を意識しながらより良くしようとする意識が感じられ、OSPの効果が見られました。また、地域の方々からは、「中学生が、地域のために一生懸命に頑張ってくれてうれしい」「安全に歩けるようになって助かっている」という声も上がっています。今後も活動を継続しながらも、より良い環境を作るには何ができるかを生徒に考えさせて、新たなことに挑戦してみたいと思います。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	233	学校名	仙台市立幸町中学校	校長名	大平 和典
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

「幸中版 杜の都エコ・スクール活動」



ゴミ拾い活動でごみを減らす
まちづくり

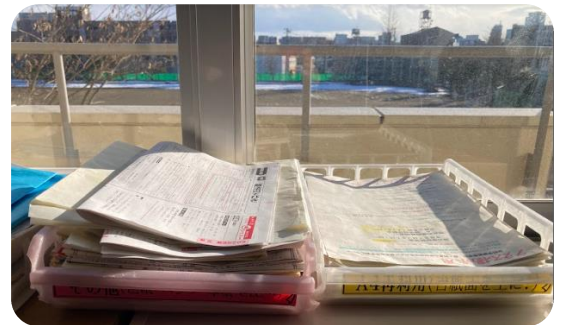
2 取組の紹介

【全クラスにおけるゴミ分別】

紙類のゴミを分別するため、ゴミの分別を呼び掛けています。
ポケットティッシュの袋などはプラごみとして回収しています。

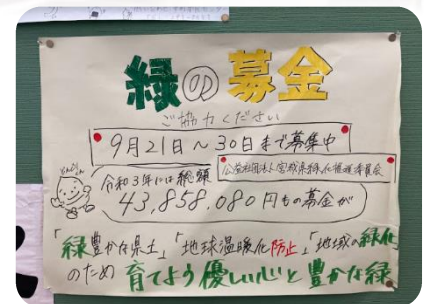
【環境係における古紙回収活動】

学級の環境係が、古紙回収の活動を行っています。
各クラスで集められた古紙を、裏面再利用紙、回収用古紙、
広告や色紙の三種類に分別しています。



【緑の募金活動】

緑の募金活動を行い、地球温暖化防止や森林保護について募金を呼び掛けました。



【地区清掃ゴミ拾い活動】

事前にボランティアを募り、地区ごとにグループ分けをして生徒が地域の大人の方と一緒にゴミ拾いを行います。拾ってきたゴミは、地域の方が中心となって分別してまとめます。毎年行っている活動で、今年度は9月23日に予定していましたが、天候不良により中止となりました。

3 取組の成果(児童生徒の変容)

リサイクル可能な紙類を普通ゴミとして捨てることがなくなり、全校生徒の分別への理解や意識が高まっています。また、教室でプラごみの分別をすることで、エコ活動への意識が高まっています。今後もこの活動を継続し、様々なエコ活動を行いながら、資源の有効活用等の意識を高めていきたいと考えています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	234	学校名	仙台市立沖野中学校	校長名	澁谷 広司
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

エネルギーをみんなに そしてクリーンに



すべての人々に手頃で信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。
そんなSDGsの目標の一部を、学校での日常活動を通して生徒たちが学ぶ取組です。

2 取組の紹介

温水器の活用 ▶

ペットボトルを黒いガムテープで覆った温水器をつくり、それを日中に窓際へ置き、温められたお湯を清掃時の床拭きに使用します。

水を温める熱を日光から得ることで、電気・ガス等のエネルギー消費の削減につながります。

日常的な活動の中で工夫を重ねることにより、環境に優しい生活が実現できることを学びました。



◀ 古紙回収

古紙回収箱を教室や職員室等に配置し、月1回程度、美化委員が回収します。

授業で使用したプリントや学校のお便りの残部、誤って印刷してしまった紙など、学校で使用される紙の量は膨大な量になります。

それらの資源を有効活用していくことの大切さと方法を、普段の学校生活から学んでいきました。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

これらの活動はどちらも普段の学校生活の何気ない場面で行われています。ここが沖野中の特色です。これらの活動が当たり前のこととして行われることに価値があると考えます。他にも科学技術部が中心になって熱帯魚の飼育なども行われており、自然が人を癒す力の大きさも実感しています。環境に自分たちの行動がどのように関わるのかを意識する生徒が増えてきました。

今後は環境への取組を更に進め、生徒たちが環境について学ぶ機会を増やしていきたいと思えます。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	235	学校名	仙台市立人來田中学校	校長名	長沼 洋美
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

「環境にやさしい生活をするために、できることからはじめよう」



2 取組の紹介

○節電と節水, エネルギー消費量カット

移動教室等で教室を使用しない時には、消灯を行うことで節電に努めています。また、エアコン使用期間中には、移動教室の時はドアを閉めて、エアコンのガス消費量を抑え、二酸化炭素の排出量を減らすようにしています。さらに、手洗い場に節水を呼び掛ける掲示物を掲示し、こまめに水道を止めるように促しています。



○古紙やゴミの分別と回収

各教室と職員室に、燃えるゴミ用のゴミ箱とプラスチック用のゴミ箱を設置しています。色やマークを変えて分かりやすく表示することで、普段からゴミを分別する習慣を身に付けるようにしています。また、古紙回収ボックスを印刷室や職員室に設置し、職員も分別を心掛けています。片面印刷の紙を再利用するなど、リサイクルにも取り組んでいます。



○給食の残食を減らすための取組

給食委員会を中心に、給食の残食量を減らすために学級での呼び掛けや掲示物の作成を行っています。今年度は年に2回、残食ゼロを目指す取組を行いました。「残食チェックシート」を活用し、一人一人が栄養のバランスを考えながら残食の量を減らすことを意識しました。残食量は集計して、昼の校内放送などで生徒に周知しています。



各学級では給食配膳時に食缶を空にするように意識して配膳し、残食を減らそうとしています。

残食チェックシート 目指せ残食ゼロ!							年 級 番 氏 名	
2023年1月23日(月)～1月27日(金)								
1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	合計点数	平均点数		
1/23(月)	1/24(火)	1/25(水)	1/26(木)	1/27(金)	点	点	点	
点	点	点	点	点	点	残食レベル <input type="text"/> クリア!!		

<このシートの使い方>
 ● 各自自分で残した品数に応じた点数を表に書き込みます。
 ● 一品も残さなかったら → 3点
 ● 一品残したら → 2点
 ● 二品残したら → 1点
 ● 三品以上残したら → 0点
 ● 欠席したら → 欠
 ● 週の終わりに合計点数と平均点数を出します。
 > (平均点数) = (合計点数) ÷ (総食を食べた日数)
 ● 自分のクリアした残食量を上記の表に書き込みます。
 > 平均3点未満 → 残食ゼロクリア
 > 平均3点未満2点以上 → 残食ほぼゼロクリア
 > 平均2点未満1点以上 → 残食ほぼほぼゼロクリア
 > 平均1点未満 → 残食ほぼほぼほぼゼロクリア
 ● すべての欄に記入できたら給食委員にこのシートを提出してください。

最後に学級ごとの平均を集計して放送で全校残食ランキングを発表します。バランスよく食べられるように頑張ります!!

人來田中学校給食委員会

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

日頃から節電や節水に努め、配膳された給食は残さず食べる残食を出さないようにするなど、日常生活の中で環境のことを考えて行動しようとする生徒が増えてきました。また、今年度は各地区で地区清掃を複数回実施することができ、積極的に清掃に参加する生徒も多くいました。自分たちが住んでいる地域の環境をより良くしようという意欲が感じられました。今後も、地球環境や身の回りの環境についての理解を深め、環境に良い影響を与える行動を学校全体で共有し、環境活動に取り組んでいきたいと思ひます。



令和4年度 社の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	69-2, 235-2	学校名	仙台市立人來田小・中学校旗立分教室	校長名	福田 理枝 ・ 長沼 洋美
------	-------------	-----	-------------------	-----	---------------

1 取組のタイトル, テーマ

学童農園を利用した食育体験と地域貢献



2 取組の紹介

旗立分教室は、宮城県さわらび学園の施設内にある学校です。さわらび学園と連携して、様々な取組を行いました。

生ゴミからの堆肥づくり

SDGsの「つくる責任・つかう責任」の目標を視野に入れ、寮の食事が出た生ゴミを溜めてコンポストにしました。食料廃棄物はゴミではなく、「循環させる資源」として活用しています。



落ち葉や雑草からの堆肥づくり

学園の環境整備作業等で集めた落ち葉や雑草を集めて堆肥をつくりました。



学園の畑を利用した野菜づくり

生ゴミや落ち葉等で作った堆肥を利用し、学園の畑で野菜を育てました。



収穫祭の実施

学童農園で育てたお米を自分たちで収穫し、透明鍋を用いて炊飯の実践や、玄米と白米の食べ比べ、食べることの喜びについて考えました。



地域清掃

地域の方々と協力し、神社の清掃活動を行いました。活動をとおして、働くことや奉仕する喜びについて学びました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

- ゴミを分別して工夫することで、再利用して役立たせることができることを学びました。
- 自分たちで作ったお米を食べることで、食べ物への感謝の気持ちをもちました。
- 地域に貢献する活動を行い、自己有用感や達成感を感じることができました。

令和4年度 社の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	236	学校名	仙台市立西山中学校	校長名	狩野 富士子
------	-----	-----	-----------	-----	--------

- 1 取組のタイトル、テーマ
「校内の活動から学ぶ環境教育」



2 取組の紹介

- SDGs の視点で考える授業の実践

1年生の社会科の授業で、「アフリカが抱える課題とその取組」という内容で、アフリカ州のことについて学びました。アフリカが抱える課題等を知り、その後その諸課題を解決するためにアフリカの国々が目指すことやその他の国々ができる支援策について考えました。授業の最後には、「私たちにできること」という見出しで、SDGsの項目と合わせて、生徒自分自身ができる取組について考えを深めました。

- 古紙回収

古紙回収BOXを各教室に設置し、月に1回、各学級の環境委員が回収します。お便りや学習プリントの残部等の多くの古紙を回収することで、リサイクルの意識を高めました。

- 美化活動の実施

9月に全校生徒で、校庭の草取りを行いました。クラスごとに担当場所に分かれ、一生懸命草取りに取り組み、草でいっぱいになったポリ袋を見て、達成感を感じている姿も見られました。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

以下に、社会科の授業のワークシートと生徒の振り返りを掲載します。

①アフリカの国々が目指すこと

- 農産物の多様化
- 工業化
- 観光業



貧困からの脱却

②外国から支援ができること

- フェアトレード
- 安全な水の提供
- NGOによる保健活動など

※日本の開発援助⇒企業や国際協力機構（JICA）、青年海外協力隊
⇒栄養不足の改善、道路や水道、電気の整備
⇒知識・技術の伝承（**ネリカ米**の栽培指導）⇒**人づくり**

③私たちにできること

- 節電節水⇒地球温暖化対策（1・3）
- 食品ロス⇒日本で余った物を輸出する（1・2）
- 情報を広める⇒みんなが意識することで変わる（1）
- フェアトレード商品を買う⇒経済の循環に貢献（10）

・アフリカ州の貧困問題の現状を知ることができ、今後、募金活動やフェアトレードの商品を買う等、私でもできる範囲で協力していきたいと思いました。

・大きい規模でアフリカの支援はできないけれど、小さなことでもアフリカのためになることができたら良いなと思いました。

・日本の子供たちは学校に行って授業を受けられるけどアフリカの子供たちは今日を生きることがまず難しいことが分かった。これから、私たちにできることは少しでもできると良いなと思いました。

今年度は、環境委員を中心として、全校生徒が積極的に活動に取り組むことができました。授業でも今後、SDGsに関わる様々な国々の諸課題等について学習していく予定です。授業や特別活動をとおして、エコ活動や環境整備等の重要性を学び、自分たちの身近な行動が持続可能な社会の実現につながることを意識させていきたいと考えています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	237	学校名	仙台市立広瀬中学校	校長名	山家 智
------	-----	-----	-----------	-----	------

- 1 取組のタイトル, テーマ
「学校全体で取り組む環境保全活動」



- 2 取組の紹介

(1) 花壇の植え替え及び管理

花壇及び昇降口に設置してあるプランターへ、チューリップやマリーゴールドなど季節ごとに花を植え、水やりや雑草取りの管理を行いました。今年度は、有志の部活動も植え替えに参加するなど緑化の意識が高まっています。

(2) 清掃用具の点検管理

清掃ロッカー内の備品点検を週1回行い、教室や廊下をきれいにするだけでなく、使用する道具もきれいな状態で保つようになりました。

(3) 校庭の環境整備

環境整備委員の主体的な活動として、校庭の草むしりと石拾いを行っています。校庭での授業や部活動の安全な活動や校庭の環境を良好に保つことにつながっています。

(4) ゴミの分別活動

仙台市のゴミ分別収集方針を受け、各教室、職員室を含め普通ゴミとプラスチックゴミを分別して回収しています。また、職員室では(5)に示している古紙回収方法に加え、付箋や包装に使われている紙も分別して回収しています。

(5) 古紙回収

日々配布されるプリントの残部を各クラスで、個人情報を含むもの・カラー印刷・白黒印刷の3種類に分別し回収しています。定期的に各クラスから1か所に集め、個人情報を含むものは裁断処理、そのほかの紙ごみはリサイクルへ出します。



- 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

昨年度の活動を引き継ぎ、全校を挙げて環境保全活動に取り組みました。コロナの影響もあり、実施できなかった取組もありましたが、委員会だけでなく、部活動で環境保全活動に取り組む姿も見られ、エコへの意識が高まっています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	238	学校名	仙台市立大沢中学校	校長名	松崎 雅威
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ
環境について考え、実践しよう



2 取組の紹介

2-1 古紙回収

各教室において、毎日お便りや各教科での学習プリントが配付されています。配付物から残部が出るため、クラスごとに古紙回収用のトレーを設置し、そこに不要になった書類をまとめています。各学級の環境委員が、毎週金曜日に分別(白色と色付きの2種)し、全体の回収ボックスにまとめています(図1)。また、残部が出ないように、必要数を計算して配付物の印刷や準備をするよう心掛けています。

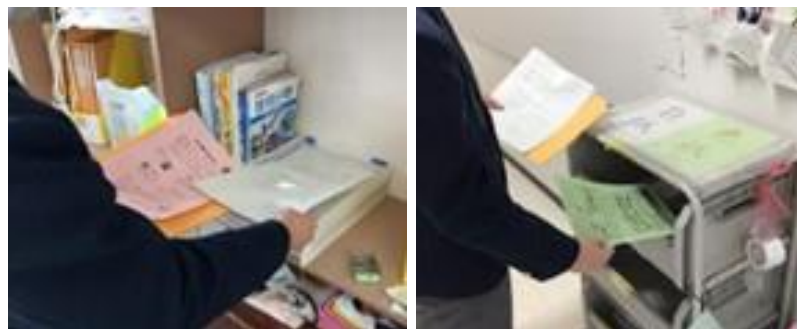


図1 左：クラスごとに設置された古紙回収用トレーに不要となった書類を入れる様子
右：全体の回収BOXに古紙を入れる様子

学級内では、古紙をゴミ箱に捨てず、古紙回収用のトレーに入れ、再利用を意識した行動が見られました。また、白色と色付きの紙を自主的に分別してクラスに設置されたトレーに入れる生徒の姿も見られました。

2-2 省エネ・エネルギー源

昨年同様、移動教室の際に、学級委員は電気を消し、授業担当の先生に伝え、冷暖房の電源を確実にOFFにしています。他の生徒からも冷暖房の電源をOFFにしてほしいと依頼されることもあり、多くの生徒が省エネを意識して生活することができました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症対策として、例年以上に室内の換気が求められています。換気はとても大切ですが、室内温度の維持や石油の消費量にも目を向ける必要があります。教室にCO₂濃度測定器(図2)を設置し、CO₂濃度によって扉の開ける大きさを調節し、換気量を適切に管理しています。

本校の屋上には太陽光パネルが設置されており(図2)、そこで発電した電力を学校で消費する電力の一部として使用しており、一部ではありますがクリーンなエネルギーを使用しています。



図2 左：CO₂濃度測定器
右：本校屋上の太陽光パネル

2-3 節水

今年度も、新型コロナウイルス感染症の流行対策として、手を洗う機会が多くあります。環境委員を中心に節水を呼び掛けるポスターを作成してもらい、それを掲示したり、声掛けをしたりして節水を意識した生活をしました。

3 取組の成果(児童生徒の変容)

環境委員を中心に呼び掛けをすることで、生徒同士が声を掛け合って省エネに努めたり、節水を意識したりと、一人一人の環境に対する意識が高まったと考えられます。今後も環境委員を中心に、古紙回収を継続して行い、ポスターで省エネや節水を呼び掛けるなどし、環境について考え、環境に優しい行動をとることができるような取組をしていきたいです。